

科目ナンバリング：UTL-2-311-05

■授業の目的及び到達目標

教育の方法と技術、教育機器及び教材の活用について、法令や学習指導要領の知識、指導技術、具体的な事例に基づく実践等を通して、授業に必要な実践的指導力を身に付ける。免許取得教科の学習指導案を作成できるようにするため、それに必要な指導計画、指導技術、学習評価等の知識・技術を習得することを到達目標とする。

■授業計画

- 1 学習への適応と生徒理解
小1プロブレム、中1ギャップなどの問題を取り上げ、学習上の不適応が生じる要因について解説し、教師の生徒への働きかけの具体的方法について検討する。
- 2 授業における指導技術1
授業における会話の特徴を示し、わかりやすい説明や指示、効果的な発問の仕方等について、具体的な事例を通して検討する。
- 3 授業における指導技術2
授業分析として、教師と生徒との相互作用分析を紹介しながら、授業におけるコミュニケーションの在り方について検討する。
- 4 授業における指導技術3
授業における板書の意義、機能及び手法、ノート指導と机間指導の意義等について、具体的な事例を通して検討する。
- 5 教材・教具
教科書使用の法的根拠、教科書検定制度、採択制度について解説し、教材・教具の取扱いと活用について検討する。
- 6 学校図書館の活用と読書活動
学校図書館の活用と読書活動の推進の意義を解説し、具体的な事例を通してその指導方法を検討する。
- 7 教育評価の理論
絶対評価、相対評価、個人内評価などの教育評価の形態、診断的評価、形成的評価、総括的評価などの教育評価の形式、自己評価、パフォーマンス評価等について解説する。
- 8 教育評価の実践
生徒指導要録の取扱いについて解説し、観点別学習状況評価の在り方、評価規準、評価計画、評価の精度について、事例に基づいて検討する。
- 9 学習指導案の作成
指導計画の意義と方法、学習指導案の作成方法について解説するとともに、生徒観、教材観、授業の展開の仕方などについて検討する。
- 10 教育機器の活用
視聴覚教育の歴史、意義、効果について解説し、電子黒板等の教育機器を効果的に活用する手法について検討する。
- 11 情報化社会への対応と情報モラルの育成
情報化社会の光と影、情報モラルの在り方について解説するとともに、情報活用能力を育成するための指導法について検討する。
- 12 障害への対応1
LD及びADHDの生徒の特徴や指導上の配慮について解説し、学習指導上の支援の在り方について検討する。自尊感情を高める指導についても触れる。
- 13 障害への対応2
高機能自閉症の生徒の特徴及び指導上の配慮について解説し、学習指導上の支援の在り方について検討する。個別指導計画に基づく組織的な対応について取り扱う。
- 14 知識基盤社会における人材育成
知識基盤社会において、育成すべき資質・能力について解説し、これから求められる資質・能力を育てるために必要な教育方法について検討する。
- 15 学修のまとめ
教育方法Ⅱで扱った内容について、論述形式の試験を行い、フィードバックとして解説する。

■授業の方法

毎回テーマを定め、教科書、資料を活用しながら講義及び課題解決学習を行う。講義では、教育理論、実態を表すデータ、事例、法令知識を提示しながら進めていく。教育機器の活用では、実例を示しながらイメージを形成する。

■予習・復習

予習として、ブラックボードシステムに示した教材に事前に目を通しておく。
復習として、授業で指示した課題を整理し、自分の考えをまとめ提出する。

■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）

課題の提出状況から授業への取組を評価する。論述形式の試験を行い、到達度を評価する。試験60%、学修への取組状況（課題の達成状況等）40%

■教科書・参考書

教科書：教職課程研究会編「教育の方法と技術」（実教出版株式会社）、文部科学省『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説総則編』、文部科学省『高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説総則編』を使用する。

■関連する科目

「教育方法Ⅰ」（学ぶ順序はⅠからでもⅡからでも可能）